

会長のごあいさつ

会長 高橋真知子



2018年を迎え、「平成」も来年4月で終わると思いますと感慨深いものがあるこのごろですが、会員の皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、1992年6月に設立された本学会も25年を経過し、2017年から新たな四半世紀を歩み出したところです。これも会員の皆様ならびにご支援を賜りました方々のお蔭と心から感謝申し上げます。

ところで、その間の日本経済は、1990年代のバブル崩壊以降の経済の停滞期に、2008年にはリーマンショックの嵐に襲われました。急速に進展していく情報化とグローバル化の中で、今日ようやく光を見いだしてきたところです。しかしながら、それは高度経済成長期の過去に戻る、というわけではありません。ビジネス現場での働き方や求められる能力は、大きく変わってきています。

そこで、2017年総会では、本学会における研究目的を「国際秘書」研究という視座を掘り下げつつも、以下のように研究領域を広げることを決議しました。

①グローバル社会における秘書の職能に関する研究

②グローバル社会における人材育成に関する研究

(詳細はHP会則等をご参照ください)

また、「研究年報」も、従来の研究論文・研究ノート of 質を維持しながらも、他に4つの領域のレポートを3,000～5,000文字で掲載することにして、日頃の関心事項をタイムリーに発表できる場を創ることを決議しました。

今後とも、社会の変化・ニーズに応えることができる学会、会員相互の研究と交流の場を提供できる学会を目指し、皆様とご一緒に活動して参りたいと存じますので、よろしくお願い申し上げます。

第26回全国大会・通常総会 開催される

日本国際秘書学会第26回全国大会は、2017年10月14日（土）に大会テーマ：「グローバル社会に適合する人材育成」とし、広島市の比治山大学にて40名の方々にご参加いただき開催されました。



第26回全国大会ごあいさつ

第26回大会委員長
西村この実（比治山大学短期大学部）

2017年10月14日（土）、秋晴れの日に第26回全国大会は、「グローバル社会に適合する人材育成」を大会テーマとして、これからの人材育成の方向性・多様性に着目して、それを探る一日となりました。

高橋真知子会長の挨拶に続き、11:10~12:00まで総会が行われました。昼食後、13:00~17:30まで以下のプログラムにしたがって、会員による3件の研究発表と基調講演、基調講演者を囲んでの質疑応答と続き、大変に実り多い大会となりました。

研究発表Ⅰ 「課外授業における女性セミナーの役割」
広島国際学院大学 平瀬洋子
座長：森山廣美

研究発表Ⅱ 「秘書に求められる資質と保育者に求められる資質の共通点と差異
— 英語教育・マナー教育の視点から —」
名古屋女子大学短期大学部 椿ますみ
座長：福井愛美

研究発表Ⅲ 「医療コンシェルジュの実態調査に向けて」
関西女子短期大学 東野國子
座長：平田祐子

基調講演

講師紹介：西村この実

「企業で活躍できる秘書とは」

講師 松村ちか氏（マツダ株式会社 総務・法務室 秘書グループマネージャー）

ディスカッション

基調講演者松村氏を囲んで

質疑応答

コーディネーター：児島尚子

今回の全国大会は、基調講演には、マツダ株式会社で総務・法務を経て、現在、秘書グループマネージャーの松村ちか氏をお迎えして、グローバル企業における人材育成についてリアルタイムの講演を拝聴しました。

また、秘書職従事者の人材育成に関する貴重な話もあり、参加者にとりましては多くの学びと理解を深める機会になりました。大会開催において全国からご参加いただいた40名の方々と、春から運営に携わってくださった西日本支部の大会委員の皆様、心から感謝申し上げます。次第です。

第26回全国大会 大会委員

委員長 西村この実（名古屋経営短期大学）

副委員長 若生 真理子（滋賀短期大学）

委員 加藤 晴美（プール学院大学短期大学部）

児島 尚子（大阪樟蔭女子大学）

東野 國子（関西女子短期大学）

平田 祐子（大阪国際大学短期大学部）

福井 愛美（神戸女子短期大学）

森山 廣美（四天王寺大学短期大学部）

大会テーマ：「グローバル社会に適合する人材育成」

基調講演

「企業で活躍できる秘書とは」

松村ちか氏（マツダ株式会社 総務・法務室 秘書グループマネージャー）

マツダ株式会社の松村ちかと申します。私は、広島県の広島女学院大学で英語文学を学び、1992年にグローバル企業のマツダに入社しました。最初の3年間は海外広報部で、世界各国からマツダに来られる皆さまへの対応に携わりました。その後1994年の12月から、フォードから派遣されている役員の秘書をすることになり、秘書という仕事が大好きになり早いもので22年が過ぎました。本日は、グローバル社会に適合する人材育成として、企業で活躍できる秘書について紹介させていただければと思います。

秘書は役員がその役割を十分果たせるよう、あらゆる補佐をすることが仕事です。別の言い方をすれば、秘書は、役員の時間と価値を最大化する人です。秘書に一言、指示をすれば、一番いい形でその場に応じたアレンジがなされることが期待されています。役員がやるべきことを満たしてくれる、補ってくれる、あるいはアドバイスをくれる、そういった点が秘書の重要な役割の一つだと思います。

マツダの秘書のバリューということで、どのような姿勢で日々、仕事に臨んでいるかをご紹介します。一つ目は社会人として、より高い品質の仕事を提供すること。二つ目はステークホルダーとの信頼関係を築くための役割を果たすこと。三つ目は仕事の意義を理解して、経営陣をしっかりと支えることです。さらに秘書のチームとし



での仕事の品質を高めたいということで、秘書間の連携も大切です。

チームとして連携し、日々の基本的な業務内容を示して、様々な対応がすぐに実行できるように秘書が共通で見られるポータルサイトを活用した情報共有を行っています。これで役員の年間予定などを始め、役員の履歴書、秘書の一覧表、役員宛てに届いた手紙や郵便物の処理方法、接待、贈答についてのガイドラインなどの社内ルール等の関連するもの、役員食堂や応接室・会議室の情報、慶弔、電報の手配（打ち方、例文）、共通して使う文書、礼状、案内状、送付状などのテンプレートも共有できます。

育成、教育の取り組みとして秘書同士が直接会って話すことにも価値があります。また、現場を知っていることが重要で、テーマを決めた集合研修、説明会や勉強会の開催を実施します。例えば、工場見学にしても、プレス工場、車体工場、塗装工場、組み立て工場とありますし、エンジン製作にしてもどの車のエンジンを作っているとか、色々ありますので、よく行きそうな場所について、実際に車に乗って、移動をしてみるというような実践的な研修をしました。

今、活躍している秘書は、柔軟で前向きに、いつも提案ができる人、自己管理ができる人、ストレス耐性が強い、よく勉強する人、アンテナを立てていて感度が良い、いろいろなことに興味を持っている人です。何か、予定を決めるに際しても、何が一番大事かということを理解して優先順位をつけられないと、時間枠だけ決めても意味がありません。秘書に上手に活躍してもらうために、秘書を使える経営者を育てるというような側面が大学教育にもあっても良いのではとも考えています。

（松村ちか氏略歴： 1992年 広島女学院大学 英米文学部卒。同年マツダ株式会社に入社し、海外広報部に配属。1994年 国際業務部、マーケティング本部にて専務秘書を担当。 1999年 秘書室にて社長秘書を担当。2011年 管理職務 秘書グループマネージャーに就任し、現在に至る。

<基調講演における全体的な質疑応答・ディスカッション>

基調講演者松村氏を囲んで

コーディネーター：兒島尚子

基調講演者と会場参加者との活発な質疑応答と意見交換が行われた。

（詳細は「研究年報」に記載）



.....

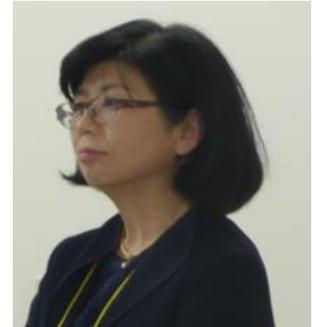
研究発表 I

「課外授業における女性セミナーの役割」

平瀬 洋子
(広島国際学院大学)

2017年11月に創立50周年を迎えた本学は、以前、広島電機大学という名称で、通称「電大」と呼ばれていた。そのため、地元では理系のイメージが根強く、男子学生ばかりが目立っていた。それで、バランスのとれた教養豊かな女子学生を社会に輩出することで、過去のイメージを払拭し、女子学生の存在をアピールできるのではないかと考え、5年前に「女性セミナー春夏秋冬」を開始した。

開始直後は、就職活動に役立つ「メイクアップ」、「筆ペン」、「テーブルマナー」などの講座を開催したが、学生の反応は「メイクアップ」を除いて期待はずれだった。そこで3年目からは、「楽しいことをみんなでやってみよう！」という方針に変更し、「お菓子作り」、「フラワーアレンジメント」、「トンボ玉作り」などを開催した。その結果、参加者が倍増して、消極的な女子学生もセミナーの開催を楽しみにしてくれるようになった。現在では、お蔭様でセミナーが女子学生の情報交換の場にもなっている。



研究発表 II

「秘書に求められる資質と保育者に求められる資質の共通点と差異
—英語教育・マナー教育の視点から—」

○椿ますみ ○上野真由美 伊藤理絵
(名古屋女子大学短期大学部)

本研究の目的は、秘書・保育者に求められる資質の共通点と差異について、英語教育とマナー教育の視点から検討することである。

秘書と保育者は非定型業務が多く、人工知能(AI)やロボットに代替されない資質やスキルが求められている。秘書とは異なり、保育者は保護者と協力して子どもを教育する立場にあるだけではなく、保護者の状況に配慮して、個別の子育て支援を行う場合もあり、人と人が関わることには変わりがなく、立場は違うが「対人処理能力」という点で求められる資質は同じで



はないだろうか。よって、単なる語学力でも上級の秘書検定資格を取得することでもなく、グローバル化の進んだ社会の中で多様な背景や価値観を理解するための知識や、表面的な型ではない心の伴った人間性を育てることが、英語教育・マナー教育には求められていると言える。英語教育・マナー教育の視点から今後の秘書および保育者を目指す学生に対する専門教育と教養教育を考えると、教養教育は専門教育を高める架け橋となりうるだろう。

研究発表 III

「医療コンシェルジュの実態調査に向けて」

東野國子

(関西女子短期大学)

医療が高度化・複雑化するに伴い、医療秘書にも医学や薬学に関する高度な知識が求められるようになった。本学においても数年前からそのことを意識した授業が行われている。そのような中、本学に近い医療機関で「医療コンシェルジュ」求人を目にした。医療業界においてサービス業に特化した「コンシェルジュ」の業務内容や資格などの実態を明らかにすることで、今後の授業構築や就職に繋がるのではないかと考えた。医療の現場において「コンシェルジュ」という職種を以前から耳にしていたが、本格的な実態調査を行う前に、事前に「コンシェルジュ」に関する知識を持つことが不可欠であると考え、今回実態調査に向けての研究を行った。その結果、その名称も様々で、業務の部署や内容も医療機関によって異なること、「コンシェルジュ」を認定する講座や資格試験、その業種の派遣なども既に始まっていることが判明した。これらの結果を踏まえ今後本格的に実態調査を行う予定である。



2017（平成 29）年度 総会（議事録抜粋）

- 1. 日時 2017（平成 29）年 10 月 14 日（土） 11:10～12:00
- 2. 会場 比治山大学（第 26 回全国大会会場）

3. 議案

<報告事項>

会員の状況について

その他

<決議事項>

議案 1 2016（平成 28）年度事業報告ならびに収支決算について

2016（平成 28）年度事業報告

2016（平成 28）年度収支決算報告

2016（平成 28）年度監査報告

議案 2 2017（平成 29）年度事業計画ならびに収支予算について

2017（平成 29）年度事業計画（案）について

2017（平成 29）年度予算（案）について

議案 3 会則変更について

(1) 会則変更

(2) 役員選挙管理規則変更

(3) 研究年報「編集・投稿規定・研究年報執筆要領」変更

<その他>

4. 成立要件 出席者 22 名, 委任状 31 名 計 53 名

※会則第 20 条 5 項

5. 議長 会長 高橋 真知子

※会則第 20 条 6 項

報告事項

会員の動向について

会員数

会員の種類	2016 年度通常総会時	2017 年度通常総会時
名誉会員	1 名	1 名
個人会員	79 名	81 名
グループ登録会員	0 名	0 名
賛助会員	0 名	0 名
会員総数	80 名	82 名

入退会等状況（2016 年度総会以降～2017 年度総会時 敬称略）

入会者：個人 4 名 千田千花 左向 貴代 今泉 景子 山本 恭子

退会者：個人 2 名 金子章代 中村あやみ

資格喪失者：0 名

(2) その他

①日本学術会議協力学術研究団体の指定解除について

2016 年 5 月 24 日指定解除の確認要請を受ける。

2016 年 6 月 28 日指定解除確定する。（「会員数 100 人以上であること」に抵触）

②「研究促進名簿」の作成と送付

学会の研究活動の促進を目的とした名簿作成と印刷された名簿の送付

日本国際秘書学会

2016（平成28）年度一般会計収支決算書

（2016年6月1日～2017年5月31日）

（単位：円）

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	714,239	研究年報発行費	260,874
東日本支部繰越金	11,234	（印刷費）	232,000
西日本支部繰越金	1,847	（諸経費）	28,874
全国大会収益	48,283	印刷費	0
会員年会費	605,000	通信費	9,280
（個人会員〔含過年度分〕）	584,000	広報活動費	76,244
（学生会員）	5,000	消耗品費	0
（アソシエイト会員）	16,000	会議会合費	33,400
雑収入	0	旅費交通費	13,240
預貯金利息	5	支部委託金	30,000
		雑費	0
		手数料	3,024
		分科会活動費	0
		特別活動費	0
		次年度繰越金	954,546
合計	1,380,608	合計	1,380,608

注）第25回全国大会会計報告、各支部会計報告は含まれていない。

2017年5月31日

会計担当理事 西村 この実



※年会費未収入金： 64,000円

監査報告

私どもは、日本国際秘書学会の2016(平成28)年度 特別会計(西日本支部通常資金収支報告)会計関係帳票および会計書類を監査した結果、上記収支決算書が正確であることを認めます。

2017年9月30日

監事 服部 基宏 

監事 加藤 晴美 

2017(平成29)年度予算

(2017年6月1日~2018年5月31日、会則変更により8月31日まで)

収入の部			支出の部		
科目	2016年実績	2017年予算	科目	2016年実績	2017年予算
前年度繰越金	714,239	954,546	研究年報発行費	242,903	200,000
東日本支部繰越金	11,234	-	印刷費	0	10,000
西日本支部繰越金	1,847	-	通信費	9,280	20,000
全国大会収益	48,283	-	広報活動費	76,244	80,000
会員年会費	605,000	600,000	消耗品費	0	30,000
雑収入	0	-	会議会合費	33,400	50,000
預貯金利息	5	-	旅費交通費	13,240	120,000
			支部委託金	30,000	60,000
			雑費	17,971	20,000
			手数料	3,024	3,000
			分科会活動費	0	20,000
			新名簿作成費	0	30,000
			次年度繰越金	954,546	911,546
合計	1,380,608	1,554,546	合計	1,380,608	1,554,546

	氏名	役職	所属
1	高橋 眞知子	会長	名古屋経営短期大学
2	平田 祐子	副会長	大阪国際大学短期大学部
3	福井 愛美	編集委員長 常任理事	神戸女子短期大学
4	西村 この実	会計 常任理事	比治山大学短期大学部
5	藤村 やよい	広報 常任理事	久留米信愛女学院短期大学
6	大塚 映	東日本支部長 理事	東京経営短期大学
7	兒島 尚子	西日本支部長 理事	大阪樟蔭女子大学
8	森 久子	理事	東京家政大学
9	服部 基宏	監事	服部経営事務所
10	加藤 晴美	監事	プール学院大学短期大学部
11	原田 昌洋	事務局	流通経済大学

「研究年報」編集委員長：福井愛美 編集委員：周藤亜矢子 串田敏美 吉田智美

支部だより

【東日本支部】 理事・東日本支部長 大塚 映

1. 支部活動報告

(1) 支部理事連絡会

- ・2017年10月 今年度の東日本支部活動の確認
第27回全国大会に向けての概要
- ・2017年12月 東日本支部活動の具体的内容について（サイバー会議）
第27回全国大会の概要について（サイバー会議）
- ・2018年1月 東日本支部活動の詳細について（サイバー会議）
第27回全国大会 準備委員会について（サイバー会議）

(2) 第27回全国大会準備委員会

- ・2017年12月 準備委員会委員の依頼
- ・2018年1月 準備委員会の発足
- ・2018年3月 準備委員会の開催

(3) 支部研究会

- ・第1回 東日本支部研究会
日 時：2018年3月11日
テーマ：「CBS（国際秘書）検定の現状と最近の傾向・受験対策」
場 所：東京ウィメンズプラザ

◆会員の皆様へ

春の時期に支部研究会、そして、秋の時期には全国大会が開催されます。今年度の第27回全国大会は東日本支部が担当し、10月に東京での予定です。できるだけ多くの皆様にご参加いただき、会員全体でのコミュニケーションを図っていければと思っております。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

【西日本支部】 理事・西日本支部長 兒島尚子

1. 支部活動報告

(1) 支部理事会

2017年3月～10月 全国大会について（サイバー会議）

(2) 支部研究会

日 程：2017年5月6日
テーマ：「秘書業務の現状」
講 師：久田美香氏（コクヨ株式会社 会長室 課長）
場 所：四天王寺大学（あべのハルカス サテライトキャンパス）

(3) 全国大会（西日本支部担当）

日 程：2017年10月14日
テーマ：「グローバル社会に適合する人材育成」
場 所：広島 比治山大学

2. 今後の予定

- ・西日本支部研究会 未定

◆会員の皆様へ

次の支部研究会は未定ですが、できる限りみなさまのご希望に沿えるような研究会を開きたいと思っております。なにとぞよろしくお願いいたします。

「事務局からのお知らせ」

第27回全国大会開催（予告）

開催日時：2018年10月27日（土）

開催会場：未定（7月上旬決定）

開催支部：東日本支部

奮ってご参加いただけますよう、日程の確保をお願い申し上げます。

◎JAISS 研究年報の既刊号を販売しています。
1部 1,000円
購入希望の方は本部事務局までご連絡ください。

◎会員情報の変更届について
住所、所属機関、連絡先等の変更がありましたら本部事務局までご連絡ください。
本部事務局（担当 原田）jaissjimukyoku@gmail.com
Tel/ Fax:082-229-8947（直通）

◎新入会員をご推薦ください。
入会申込書は学会ホームページからダウンロードできます。
<http://www.jaiss.org/>
参考 <入会資格に関する内規>
入会資格は、次に掲げる要件のうちいずれか一つを満たすこととします。
(1) 4年制大学卒以上の学歴および専門分野における研究業績を有すること。
(2) 4年制大学卒業以上の学歴で研究業績がない場合は、実務経験3年以上であること。
(3) 短期大学卒業の場合は、実務経験5年以上であること。
(4) 高校卒業の場合は、実務経験7年以上であること。

◎本部事務局の住所を変更いたしました。
〒732-8509 広島市東区牛田新町四丁目1-1
比治山大学短期大学部 西村この実研究室内

日本国際秘書学会発行
本部事務局
〒732-8509 広島市東区牛田新町四丁目1-1
比治山大学短期大学部 西村この実研究室内
Tel/ Fax:082-229-8947（直通）
メール jaissjimukyoku@gmail.com
ホームページ <http://www.jaiss.org/>